



陽子の道政だより

82

2021年 新緑号

発行 平出陽子事務所

連絡先/函館市中島町2-8
函館教育会館内
(☎33-5080)



▲ 道立江差高看 (北海道のHPより)

道立江差高等看護学院

長年にわたり「人権侵害」横行!!

北海道議会議員 平出陽子



Ⅱ 道立の施設で時代錯誤も甚だしいことが起こっていますね。

△ 平出V「時代前は「セクハラ・パワハラ」をする方はそんなつもりではなかった、される側にも問題がある。という理由がまかり通っていました。が、現在はされた側がそう感じたなら、犯罪として成立するのです。

Ⅱ 加害者教員は特定されており、被害者である生徒たちの証言もあるから、パワハラはすぐ成立するでしょう。

△ 平出Vそれがおかしいことに道は調査中といった認定しないのです。年度末に慌てて生徒・教員に事情を聴いて事実を確認したにも関わらず認めていません。

Ⅱ どのように教員が生徒に対しパワハラをするのですか。

△ 平出V複数の教員が気に入らない生徒に対し、文章化するのにも恥ずかしい「暴言・指導放棄・難癖つけて留年・退学や休学の強要」をしています。保護者が、道の保健福祉部に何度訴えても道が真剣に向き合ってくれなかったため、私に助けを求めてきたのです。

一学年の定員は四〇名ですが、入学者は過去一〇年間でも最多で三〇名、最少では十六名でした。昨年の入学者十九名中、二年生に進級できたのは半数にも満たない九名だったそうです。

北海道立江差高等看護学院の正常化を求める父母の会

知事へ期日指定の回答求める

Ⅱ 学院の人権侵害・パワハラを訴えるために「父母の会」が結成されましたね。

△ 平出Vひとりが訴えても道はもみ消すので、「正常化を求める父母の会」を結成し世論に訴えました。各報道機関が取り上げてくれ、全国ニュースにもなりました。父母の会としては、知事への「謝罪・処分・正常化・生徒の

北海道立江差高等看護学院の教育目標

(抜粋)

人間についての理解を深め、生命の尊厳を基盤として倫理観を培い、自己を見つめる力と相手の心を思いやる豊かな感性を養います。

看護の専門職としての誇りと自覚をもち、主体的に学習を継続し、自己成長ができる基盤を養います。

救済」の要請行動と署名活動をしていくそうです。加害者教員の行為は言語道断ですが、それ以上に監督官庁である道の責任逃れは看過できません。マスコミ報道されてから、これまでの教員の長年にわたる悪行が、実名で元学院生から続々と寄せられているそうです。議会でも追及していきます。

2021年度

道予算三兆二五三〇億円に 会派は組み替え動議提出!

否決されたが

Ⅱ 新年度は過去三番目の大規模予算になりましたね。

△ 平出Vワクチン接種に関しての経費やコロナ禍で影響が出る個人や法人への支援金等四五〇三億円が含まれ、医療体制強化のため一七五一億円が計上されました。しかしコロナ禍で道税収入も少なくなっていますから、今後どうなるのでしょうか。

国からもコロナ対策費として大型資金が投入されますが、

Ⅱ 会派としてはこの予算案には賛成せずに組み替え動議を提出したのですね。

△ 平出V組み替え動議とは「この部分が不足であるから再提案せよ。」という動議です。

民主会派は「中長期的な財政健全化の道筋を早急に示すべき。」「コロナ対策費は必要であるが、国の指示に従っただけでは道の独自性がない。道民に安心感を与える対策とは言い難い。」「速やかに脱炭素社会を実現できるように、早急に中長期目標・



を認め合う社会の構築に向けた予算措置を講ずべき。」の観点で提出しましたが、否決されてしまいました。

Ⅱ 平出さんは、特に人権意識の点で憤りを感じているのではないですか。

具体策の取りまとめ・必要な予算措置を講じるべき。」「人権政策に知事の理念や考え方が全く示されていない。人権政策を道として最優先に取り組む政策として引き上げることを内外に明らかにし、差別解消・多様性

コロナ禍における

高齢者保健福祉の充実

自宅介護希望高齢者に寄り添う福祉を

Ⅱ 病院や福祉施設に入っている高齢者の皆さんは、家族と会えず大変な思いをしていますね。

△ 平出Vそのようなのです。高齢者の皆さんだけでなく家族の皆さんも同じ思いでしょう。面会自粛のため、体力が更になくなった、認知症が強くなった、家族に会えないまま亡くなったという話をよく耳にします。

「コロナ感染するから」とサーピスを自粛するよう高齢者にはのめかす事業所には注意するよ

少人数学級が拡大になる!

2020年から、道教委は小3、4年生に35人以下学級が導入されていました。国は2021年4月から導入するので、国に先行して道も拡大すると発表がありました。これまでの主張がやっと国に認められた感があります。学校現場では児童・生徒がよくわかる授業実践が求められます。

35人以下学級編成の導入計画

年度	北海道	国
R2	小3 (学年1学級) 37校	—
R3	小3 (全校) 70校、小4 (学年1学級) 40校	小2 744人
R4	小4 (全校) 70校、小5 (学年1学級) 40校	小3 3,290人
R5	小5 (全校) 70校、小6 (学年1学級) 40校	小4 3,283人
R6	小6 (全校) 70校 ※35人学級の完成	小5 3,171人
R7	—	小6 3,086人

※下線部分が今回の拡充部分。小2は国の加配定数により導入済

う道に申し入れました。

このような状況が続くと、自宅介護に切り替えようとする家族が増えます。

Ⅱ でも自宅介護に対応できる事業所が少ないのがますます問題になりますね。

△ 平出V国は自宅介護を推進していますが、国の言う自宅とは

グループホームや小規模多機能施設も含まれますから、本来の意味での自宅とは異なります。

自宅介護するには、ヘルパー・看護師不足が喫緊の課題です。ですからその大事な看護師を卵のうちに潰す看護師養成校の教員がいることは処分ものと憤っています。

北海道新幹線

トンネル掘削工事における

要対策土の処分方法は

トンネル工事の掘削土の処分が問題になっていますが。



要対策土が出ます。

II そのような厄介な土なら、受入地はなかなか決まりませぬね。

△ 平出V そうなのです。要対策土は発生した自治体内で処分することが原則だそうですので、

受入地が決まらなければ着工はできないです。だから二〇三〇

年度末の札幌延伸に影響するのではないかと鉄道運輸機構は

焦っているのです。

受入地の住民の皆様も人体に悪影響を及ぼさない要対策土処分方法を示してくれなければ、

同意はできないですね。

函館近隣では、渡島トンネル、八雲トンネル工事で要対策土が出ます。

II どのような処分方法があるのですか。

△ 平出V 学識者の方がその地にあった方法を決めるそうです

が、現在、安全だろうと考えられているのは遮水シートで土を

全部包むやり方だそうです。

もっと安全な方法として、有害物質の中和剤を散布する方法も

あるやに聞いていますが。

II 受入地確保・処分方法は北海道新幹線の札幌延伸計画にとって、重要な課題ですね。

△ 平出V 私もそう思います。住民の皆様は反対を押し切って要

対策土を受け入れさせたと、後世に禍根を残さないよう安心・

安全な処分方法を施した受入地になるよう強く指摘しました。

女性議員の連携で

性犯罪被害者支援に

一歩前進

II 性犯罪被害者のためのワンストップセンター「さくら」の設置は全国的にみても早かったのですが、その後の整備がなかなか進みませんでしたね。

△ 平出V 関係団体と連携し行動してきましたが、残念ながら他

県から後れを取っていました。

しかしやっと、警察に届けなくても処置するための医療費が

道から出るようになりました。

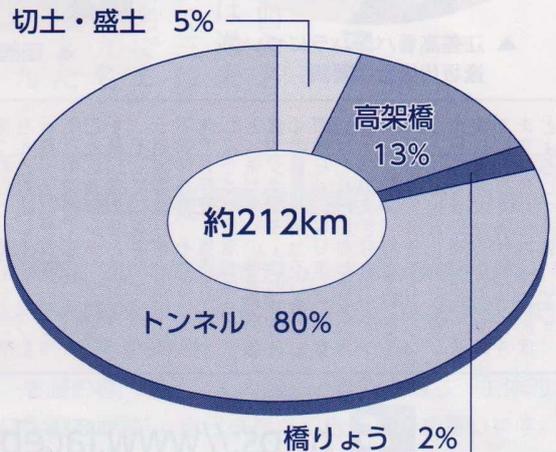
二〇二〇年からやっとです。

警察に届けると費用は国から出ますが、届けないと費用負担

制度がある都道府県から出ます。道内8か所のシエルトター

北海道新幹線工事ではトンネル区間が約80%を占める

切土・盛土	約 11.4km
高架橋	約 27.2km
橋りょう	約 4.4km
トンネル	約 168.7km



は、相談を受けたケースは支援基準が明確でなかったため悩み、結果支援できなかったと聞かれています。新年度にはきちんと支援の方法を研修する機会を設けるように提言しました。

道外の被害者も適用になる

II 被害者が道外在住であっても支援があるのですか。

△ 平出V 他県では支援適用などから国も昨十二月に後追いで認めました。やっと道も後々追

いで新年度から女性議員の質問により道負担が実現になります。

第1回定例会で採択された決議・意見書

- ◎ 気候非常事態宣言に関する決議
- ◎ 国民健康保険の子どもに係る均等割保険料（税）軽減措置の対象範囲拡大の検討を求める意見書
- ◎ 悪質商法による消費者被害をなくすための預託法の改正並びに特定商取引法及び同法指針の改正等を求める意見書

で見る 陽子の 道政日記



▲ しょうがい児(者)の進路保障を考える会年金学習会



▲ 母と女性教職員の会道教委要請



▲ 北教組函館支部年次大会

第49回衆議院議員選挙
立憲民主党北海道第8区合同選対本部・第2回選対会議



▲ 第8区総支部大会



▲ 函館新外環状道路開通式

新型コロナウイルス感染症対策



▲ 函館市に要請



▲ 江差高看パワハラについて
逢坂代議士に要請



▲ 函館湯川温泉組合等と意見交換

議会質問



▲ 高齢者保健福祉の充実について



▲ 新幹線トンネル工事要対策土について



▲ 新しい旅のスタイルについて

地域があって、国がある。

平出 陽子
北海道議会議員

おおさか 誠二
衆議院議員

立憲民主党

街頭演説会
2021年10月10日(日) 函館市本町交差点

▲ 2連ポスター

あとながき

新型コロナウイルス感染症は変異型ウイルスによる「第4波」に入ったと言われる状況になっています。医療の逼迫も切実な状況であり、医療従事者はじめ関係の皆様のご苦労は想像を絶するところです。その医療の担い手をめざして学んだ生徒が人権侵害・パワハラを受け続け、声を挙げたこと、そのことに対する対応が長年にわたってこの道で起こったことに強いショックと憤りを禁じ得ませんでした。そして、森喜朗オリ・パラ組織委員会前会長による不適切発言、それをいっときでも容認・擁護・スルーしようとする風潮があったこと、未だ多くの性差別の意識やシエンターに対する多くの偏見が残っていることが明らかになりました。今回はこれらに対し批判の声が一つの大きなムーブメントにつながり始めています。平出陽子は今後もおかしいことにはおかしい、道民・市民の皆様へ寄り添い、政策に反映させるべく「弁えずに」声を挙げ続けていきます。変わらぬご支援のほどよろしくお願ひします。

